

調査にご参加される方へ

食品アクセス、食料不安および食品購買行動に関するインターネット調査

この文書は、本調査研究の内容を説明するためのものです。調査への参加をご希望の方は調査画面にお進みください。

1. 研究の名称

食品アクセス、食料不安および食品購買行動に関するインターネット調査

2. 研究機関および研究責任者

研究機関・所属：千葉大学 大学院情報学研究院 研究責任者：片桐 諒子

3. 研究の目的

本研究は、日本人成人における食料不安、食品の入手困難、食品購買行動および食品摂取頻度を把握し、食品入手改善に向けた政策検討のための基礎資料を得ることを目的として実施します。さらに、インターネット調査では把握しにくい在宅高齢者の食品入手困難の事例について、介護職の方に詳細をお伺いします。この研究は、千葉大学西千葉地区理工系生命倫理審査委員会の審査を経て千葉大学の実施許可を得て実施するものです。

4. 研究の方法

本研究では、無記名のウェブアンケート調査を実施します。調査会社として楽天インサイト株式会社を利用する予定です。年齢、性別、居住地域、世帯状況、所得、食品入手、食品購買行動、食品摂取頻度、健康状態等を尋ねます。65歳以上の回答者には、食料品の入手方法などに関する追加質問を行います。介護職の方には在宅高齢者の食品入手困難の事例について尋ねます。回答には20～30分程度を要する見込みです。回答内容や追加質問の有無により、所要時間は前後する場合があります。

5. 研究対象者

本調査の対象は、日本国内に居住する18歳以上の成人です。介護職パネルの対象は、訪問介護員、サービス提供責任者、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等として、在宅高齢者の支援や相談に関わる方です。

6. 参加の任意性と撤回の自由、中止の方法

本調査への参加は任意です。参加しない場合でも不利益はありません。また、回答の途中であっても、ブラウザを閉じることでいつでも中止することができます。回答しない場合や途中で中止した場合でも、不利益が生じることはありません。

7. 個人情報の取扱い

本調査では、氏名、住所、電話番号、メールアドレスなど、回答者個人を直接識別する情報は研究者には提供されません。インターネット調査会社から研究者へ提供されるデータは、回答者個人を直接識別できない形に加工された調査データです。このため、回答の提出後は個人がどのデータであるか研究事務局では判断できないため、データ削除することは困難となりますのでご了承ください。また、郵便番号や居住地に関する情報は、地域の食品入手状況を把握するために用いますが、個人が特定される形で集計、分析または公表することはありません。

8. 情報の保管および廃棄

研究者が受領した調査データは、研究機関の管理する記録媒体またはパスワード等で保護された電子ファイルとして保管します。研究に関係する者以外がアクセスできないように管理し、研究終了後は研究機関の規程に従って適切に保管または廃棄します。具体的な保管期間、保管場所および廃棄方法は、研究計画書および研究機関の規程に従います。

9. 予想される負担および利益

本調査はウェブアンケートであり、身体的侵襲はありません。回答に伴う主な負担は、回答に要する時間および食品購買、所得、健康状態等に関する質問への心理的負担です。回答したくない質問には回答しないことができ、途中で中止することもできます。調査に参加することで直接の利益はありませんが、本研究で得られた結果は、食品入手困難の実態把握および食品入手改善に向けた政策検討のための基礎資料として活用される可能性があります。

10. 研究成果の公表

本研究で得られた結果は、学会発表、論文、報告書等で公表される場合があります。その場合も、回答者個人が特定される形で公表されることはありません。

11. 費用負担および謝礼

本調査への参加により、回答者に研究上の費用負担が発生することはありません。調査会社のパネル規程に基づき、回答者には調査会社からポイント等が付与される場合があります。研究者から回答者に直接謝礼を支払うことはありません。

12. 研究に関する問い合わせ

本研究に関する質問や相談がある場合は、下記研究事務局にお尋ねください。

研究事務局

千葉大学大学院情報学研究院 片桐諒子

263-8522

千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学

043-251-1111（代表）